

岡崎のまちづくり情報をお届けします!

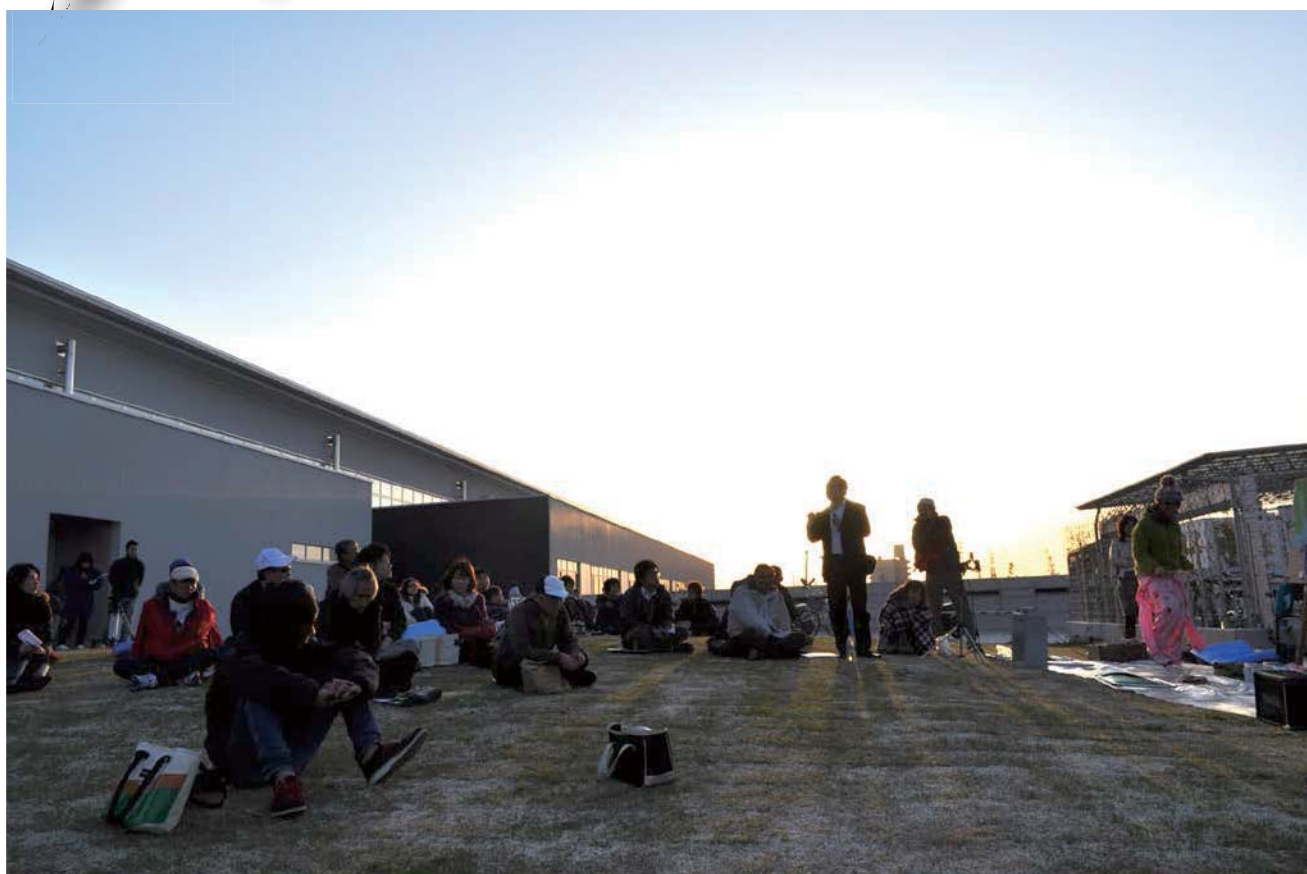
りた便り

Vol.



NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 機関紙〔2010年5月1日〕

特集:中心市街地まちづくりを考える**康生 NEXT 会議1**



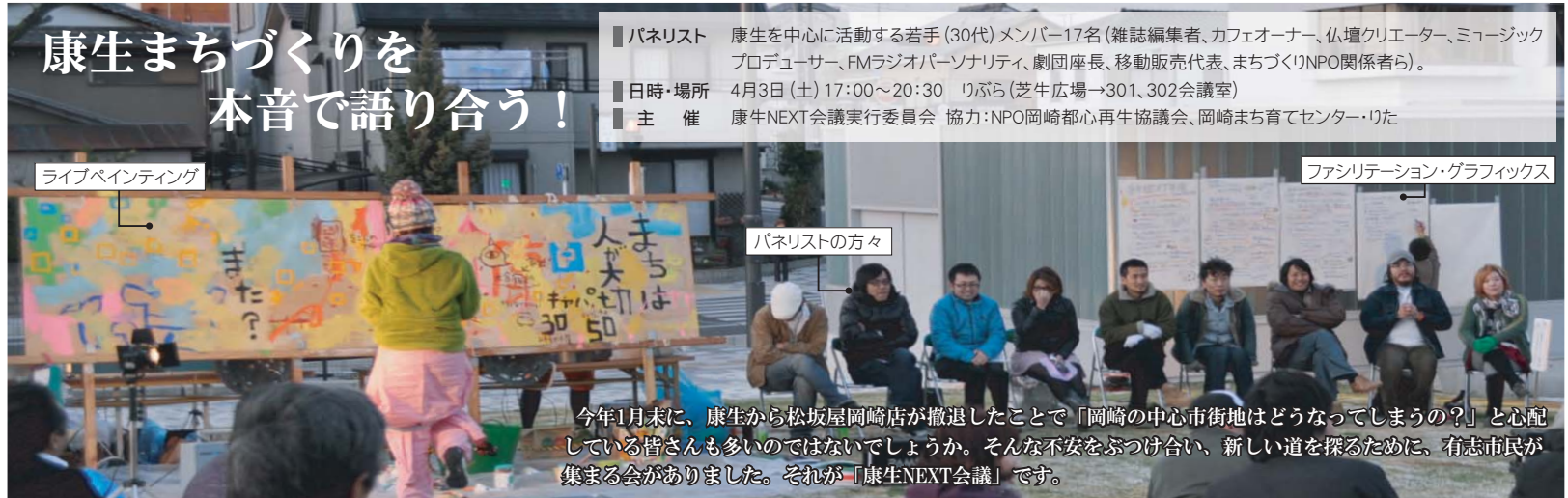
りぶら北東の芝生広場で行われた康生 NEXT 会議

私達、岡崎まち育てセンター・りたが、岡崎市地域交流センターの管理運営に関わり始めて5年が経過しました。昨年は、4年間の活動実績を取りまとめたブックレット「まちづくり NPO と公共施設の指定管理～地域交流センター物語」を発行し、市内外からの反響もいただきまして、190部を売り上げるにいたりました（好評発売中）。現在、岡崎市の北部、南部、西部の地域交流センター、そして中央にある岡崎市図書館交流プラザ内の市民活動センターの運営を含めると、市内4ヶ所に拠点を持ち、市民活動、地域活動の支援に携わっています。

各地の情報を束ねると、岡崎市といっても、北部は北部の文化といった具合に、決して同じではなく、多様な地域活動が展開していることが分かります。そこで「岡崎市内でこんなにも豊かな地域活動、まちづくりが進められていることを、多くの市民の方に知ってもらいたい」という願いがあったこと、また理事団体の一つである岡崎青年会議所の皆さんが進める市民自治の推進事業とも協働して、平成20年度から『地域活動報告交流会』を進めてきました。これは、岡崎全域ではなく、地域交流センター単位で、例えば岡崎市北部で活躍されている多様な地域活動団体の皆さんにお集まりいただき、相互に学びあい、刺激を受けあうとともに、岡崎の地域活動の「今」を知っていただくための事業です。

今月22日には、岡崎市南部地域活動報告交流会を開催しますので、是非覗きにきて下さい。

康生 NEXT 会議



今年1月末に、康生から松坂屋岡崎店が撤退したことで「岡崎の中心市街地はどうなってしまうの?」と心配している皆さんも多いのではないのでしょうか。そんな不安をぶつけ合い、新しい道を探るために、有志市民が集まる会がありました。それが「康生NEXT会議」です。

Session

1 ポスト松坂屋を考える

1. 中心市街地を農業で活性化!?

過去40年間岡崎の中心施設として文化をリードしてきた松坂屋、クレオ、セルピの存在が一定の役割を終え、新しい時代が到来したからこそ、松坂屋は撤退しました。商業、消費の中心が、岡崎市の南部(イオンモール)に移動した現在にあって、新しい康生の中心的な機能が、商業なのか、あるいは文化なのかについて議論が展開しました。そこでは「新しい人が入ってくる状況づくり」「戻ってきたくなる康生」を目指すべきという提案がありました。大胆な提案としては「まち中で農業をやる」「松坂屋を牧場にする(松坂牛?)」「屋内で野菜をつくる」等がありました。

2. インディーズの集合

今後、新しい事業者、若い経営者の育成が重要であり、人の成長なくして、まちの成長はないことが確認されました。そこで「あそこに行けば学びが得られる」「何かがやりたいやつはあそこに行け!」と言われるまちになることが目標となります。元気な人からエネルギーを得て、お互いにぶつかりあい、成長のきっかけを得られる、そんなまちです。その意味では「松坂屋は丁度いい空き家だ」と見ることが出来ます。その一方で「今あるお店が、お客さんを増やす一つ一つのサービスを増やすことが大切」とする指摘もありました。

3. 1500人ホールの行方

一方、岡崎市では、康生における新文化会館建設の検討が始まっています。日頃、アート活動に携わっている面々からは「1500人ホールは使いこなせるのだろうか?」という不安が出されました。外の有名人を呼んで興行を仕掛けてホールを埋めることを想定すると、イベントの声を聞いて施設整備を進めて欲しいとする要望がありました。一方で、パネリストからは「今日くらいの人数、30人程度が集まれるちょっとしたフリースペース」「50~100人が入れるライブハウス」「寝泊りできる大合宿場」「カーリング場、お化け屋敷」等、「もっと異常で、目を引く、とてつもない何か」への期待が膨らみました。

Session

2 文化とは何か?

4. 岡崎ってスゲー!

議論が白熱し、パネリスト達の本音が出始めました。「文化的な人とは、(何者にも拘束されず)勝手に振舞える人」とする主張がありました。パネリストらの思いが行き着いた先は「岡崎を、他の町のどこでもないオンリーワンの存在にしたい」「岡崎をブランドにしたい」「岡崎ってスゲーって言われたい」とする岡崎人魂でした。そんな岡崎人魂を弾きさせる場として、例えば「松坂屋が取り壊される前に、市民で勝手に使える時期があったらいいね」とする提案がありました。

5. 文化とは、発信(表現)すること。

物事の考え方も地域の文化であり、暮らし方、生き方、つまりは人の営みそのものが文化。それが表現され、発信されてこ

そ、その地域の文化として理解される、とする指摘がありました。そのためには、康生が主体性のある人、自分なりの考えをもって生きている人、表現する人が集うまちであるべきだし、実際にパネリストらが康生を拠点に活動をしていることを力に変えて行こう(メディアミックスで、康生の今を伝える)という提案がありました。

6. 康生の素晴らしさが受信できない。

文化活動が見返りを求めない自己表現とする指摘がある一方で、文化活動と経済活動のバランスも必要、とする議論が起きました。康生では、家康グッズすら売っていない、内田JAZZも活かしきれていない、お寺も沢山あるけど、活かされていない課題があります。経済活動にのらない段階では、情報発信力にも限界があるため「(岡崎・康生のブランド化を)勝ち取りに行く気概がないとだめだ」という激が飛びました。よそから来た人には、岡崎や徳川家康の素晴らしさ、本多忠勝の凄さ、が伝わってこない「受信できない」現状が問題です。岡崎人には郷土愛があるけれども、地域資源を経済活用できていないのです。

7. 康生は住みやすい

一方で「Libraが出来てよかった。人が康生に来るようになった。特に若い人が出入りするようになったのは、Libraのお陰だ」との指摘がありました。すると会場に来ていた若者(大学生)から「Libraに来たら、チャンスが得られた」と発言があり、他にも「Libraには本もあるし、JAZZもある」「絵本の部屋も魅力的だ」との指摘が続きました。まちの真ん中には菅生川もあり、自然

も豊かであり、車に乗らないようになったおじさんからは「まちバスを使いこなすと、こんなに便利なものはない」との発言が続きました。つまり、暮らしのまち、としての康生は既に十分魅力的なのです。もっと緑豊かで公園のようなまちになり、人と情報が集まるまちへの夢が語られました。

Session

3 康生のNEXTを考える

8. ブリコラージュなまちづくり

(魅力的な人と商いを張り合わせる)

これまでの議論を受けて、パネリストからは次のような夢が語られました。「文化的なまちとは、多様でとらえどころのないもの」「多様な魅力が沸々と沸き出で、変化のあるまち」「人がいるから行きたくなるまち」「康生NEXT会議の集客を3倍にする」「康生に住んでいる人の声も聞きたい」「20代の子達とつながりたい」「今既にある宝や資源の活用方法を考える」「インディペンデンス(独立したアート)の集合体」「イオンのカウンターカルチャー(役割分担)」「カオス、無秩序から新しい何かを生む」「ターゲットを内に求めるのか、外に求めるかをはっきりする」「知的要求を満たすまち」「康生に行けば、凄い人にあえる」「次回NEXT会議は、松坂屋でやろう」

★ ★ ★

数々の思いが飛び交った康生NEXT会議1。パネリストたちは、大盛り上がりで康生のまちへと消えていきました。(今後も継続的に議論の場をつくる予定です。是非ご参加下さい。)

イベント情報

行って得する、ためになるオススイベントです。

■おかざき大好きシンポジウム 2010

日時 5月20日(木) 18:10-19:40
場所 りぶらホール
主催 岡崎青年会議所
内容 岡崎のまちの魅力を、愛着心や誇りにつなげるシンポジウムにパネリストを派遣します。多彩なパネリスト(地元名物、高校生、JC、NPO等)が登場します。

■康生 NEXT 会議 2

日時 5月29日(土) 15:00-18:00
場所 りぶら(予定)
主催 康生 NEXT 会議実行委員会(りた協力事業)
内容 前回会議を発展させて創造都市康生を考えます。

専門家派遣

今日もどこかでまち育て。

■前林交流館自主グループ研修

日時 5月15日(土) 13:00-16:00
場所 前林交流館(豊田市)
主催 前林交流館
内容 同交流館を活用している自主グループに向けた研修会に専門家を派遣します。

■なごや☆子ども City2010 ワークショップ 9

日時 5月16日(日) 13:30-16:30
場所 未定
主催 名古屋市子ども自立支援室
内容 8月開催の「なごや☆子ども City2010」に向けた実行委員会に専門家を派遣します。

■愛・地球博記念公園マネジメント会議

日時 5月28日(金) 13:30-16:30
場所 愛知県立大学
主催 愛知県公園緑地課
内容 モリコロパークを県民協働で進めるための公園マネジメント会議にコーディネーターを派遣します。

■有松まちづくり憲章ワークショップ 5

日時 5月27日(木) 19:00-21:00
場所 有松コミュニティセンター
主催 有松まちづくりプロジェクト
内容 有松まちづくり憲章を、有松絞りまつりでどのようにPRするかを考える会に専門家を派遣します。

NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 会員募集中



団体会員 (年会費 10,000 円)

個人会員 (年会費 3,000 円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

講座情報

市民活動・まちづくりの学びの場。

■岡崎市南部地域活動報告交流会

日時 5月22日(土) 13:00-15:30
場所 よりなん第6活動室
主催 りた自治支援グループ
内容 岡崎市南部地域で活動している地域活動団体(全9団体)が集結する報告交流イベントを開催します。地域活動のヒントを得られます!

助成金情報

「資金さえあれば…」という活動に。

■岡崎市民公益活動助成

支援元:岡崎市 市民協働推進課
応募資格:岡崎市に登録した市民活動団体
対象:岡崎市の登録を受けた市民活動団体が、平成22年4月1日~平成23年3月31日までの期間に実施される事業
※切:2010年5月21日(金) 17:15 まで【直接提出】
詳細:<http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu/1149.html>
岡崎市民協働推進課 TEL0564-23-6491

■第22回「わかば基金」

支援元:NHK 厚生文化事業団
対象:地域で活発な福祉活動を進め、この支援金で、より活動の幅を広げていこうというグループ
金額:1グループにつき、上限 70 万円
※切:22年5月21日(金) 必着【郵送のみ】
詳細:http://www.npwo.or.jp/info/2010/post_94.html

■2010年度研究助成プログラム

～くらしといのちの豊かさを求めて～

支援元:トヨタ財団
対象:①文化の伝承と形成②社会の仕組み③自然とのつながりの3つの分野からの研究。「個人研究」と「共同研究」の2種類。
金額:個人研究:上限額 200 万円/件
共同研究:上限額 800 万円/件
※切:2010年5月 7日(金)【WEB提出】
2010年5月 12日(水)【郵送等提出】
詳細:
<http://www.toyotafound.or.jp/02program/kenkyu.html>

地域交流センター利用者数 3月

単位:人

	交流スペース	活動室 (ホール・調理室含む)	ブレイルーム
なごみん(北部)	886	3893	1747
よりなん(南部)	1652	4816	2343
やはぎかん(西部)	3511	4225	1382

事務局
より

平成22年度も事業が盛り沢山。
6月の総会にて、会員の皆さんにお
伝えすべく、鋭意準備中です。

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
図書館交流プラザ(Libra)2階 市民活動センター
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた
☎(0564)23-2888 Fax(0564)23-2898